



# 2021年度昭和大学横浜市北部病院 内科専門研修プログラム

昭和大学横浜市北部病院  
消化器センター

馬場俊之

# これからお話する内容

- 内科専門研修プログラム(内科専門医取得).
- サブスペシャリティ領域専門医取得.
- 博士(医学)取得.



# これからお話する内容

- 内科専門研修プログラム(内科専門医取得).
- サブスペシャルティ領域専門医取得.
- 博士(医学)取得.



# 2021年度 昭和大学横浜市北病院内科専門医研修プログラム

## 2021年度 昭和大学横浜市北部病院 内科専門医研修プログラム



1

## 目次

1. 理念・使命・特性
2. 内科専門医研修はどのように行われるのか
3. 専門医の到達目標
4. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得
5. 学問的姿勢
6. 医師に必要な、倫理性、社会性
7. 研修施設群による研修プログラムおよび地域医療についての考え方
8. 年次毎の研修計画
9. 専門医研修の評価
10. 専門研修プログラム管理委員会
11. 専攻医の就業環境（労務管理）
12. 専門研修プログラムの改善方法
13. 修了判定
14. 専攻医が専門研修プログラムの修了に向けて行うべきこと
15. 研修プログラムの施設群
16. 専攻医の受入数
17. サブスペシャリティ領域
18. 研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件
19. 専門研修指導医
20. 専門研修実績記録システム、マニュアル等
21. 研修に対するサイトビジット（訪問調査）
22. 専攻医の採用と修了
23. ローテーションスケジュール例

（資料 1）昭和大学横浜市北部病院内科専門研修プログラム管理委員会  
および当院概要

（資料 2）連携施設、特別連携施設一覧および概要

2

41 pages

# 2021年度昭和大学横浜市北部病院 内科専門研修プログラム募集要項

- 募集定員：各基幹プログラム毎に行う。
  - 2021年度：20名。
- 試験日程：未定。
  - 昨年：2019年11月17日。
- 選抜方法：未定。
  - 昨年：筆記試験，面接。
    - ✓成績上位者より合格。
    - ✓サブスペシャルティーは問わない。

# 過去の入職者の内訳

昭和大学横浜市北部病院	2018年度 定員:10	2019年度 定員:10	2020年度 定員:20
呼吸器センター(内科)	1	0	1
消化器センター(内科)	3	2	4
循環器センター(内科)	1	4	2
内科(神経)	0	0	1
内科(血液・腫瘍)	0	0	0
内科(内分泌・代謝)	0	0	0
内科(腎臓・高血圧・アレルギー・膠原病)	3	3	1
<b>合計</b>	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>9</b>
(大学院)	1	0	0

# 基本方針

- 昭和大学横浜市北部病院が設けた**内科専門医研修プログラム**に基づき、理想的な内科専門医を育成し、**専攻医3年目**(または**4年目**)**終了時点で内科専門医受験資格を獲得**する。
- 経験症例.
  - 専攻医2年終了時(サブスペシャリティ混合コースは3年終了時):**45**疾患群,**120**症例以上.
  - **専攻医3年終了時**(サブスペシャリティ混合コースは4年終了時):**56**疾患群,**160**症例以上(修了要件).
  - 目標:**70**疾患群,**200**症例以上.
- 病歴要約:**29**症例.



# 内科専門研修を行う「7診療科」

診療部門(サブスペシャリティー)		疾患群	診療部門
呼吸器C(内科)		総合内科Ⅰ(一般) 総合内科Ⅱ(高齢者) 感染症 救急	全科
消化器C(内科)			
循環器C(内科)		総合内科Ⅲ(腫瘍)	消化器C 呼吸器C 内科Ⅱ(血液・腫瘍)
内科	内科Ⅰ(神経)	消化器	消化器C 内科Ⅱ(血液・腫瘍)
	内科Ⅱ(血液・腫瘍)	循環器	循環器C(内科) 内科Ⅳ(腎臓・高血圧)
	内科Ⅲ(内分泌・代謝)	内分泌・代謝	内科Ⅲ(内分泌・代謝)
	内科Ⅳ(腎臓・高血圧・アレルギー・ 膠原病)	腎臓・膠原病・アレルギー	内科Ⅳ(腎臓・高血圧・アレルギ- アレルギー・膠原病)
		呼吸器・アレルギー	呼吸器C
		血液	内科Ⅱ(血液・腫瘍)
		神経	内科Ⅰ(神経)
		救急	救急C

昭和大学横浜市北部病院  
内科専門医研修プログラム

基本コース



病歴提出  
(2年目)

専門医  
試験  
(3年目)



サブスペシャリティー重点コース



「基本コース」, 「サブスペシャリティー混合コース(4年制)」  
に興味がある先生は個別に相談にのります。

サブスペシャリティー混合コース(4年制)



病歴提出  
(3年目)

専門医  
試験  
(4年目)



# 内科専門医研修プログラム「サブスペシャリティー重点コース」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2年目	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
									内科専門医病歴提出			
3年目	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
									内科専門医筆記試験			

- 1年目(4月～9月:初期6ヶ月は):サブスペシャリティー科で研修.
- 地域医療以外:基幹施設(横浜市北部病院, 昭和大学病院, 藤が丘病院, 江東豊洲病院)で12ヶ月以上の研修.
- 地域医療(東京・神奈川以外):本学以外の連携施設で12ヶ月以上. 1施設につき6ヶ月以上.
- サブスペシャリティー科の研修:24ヶ月以内(各内科診療科のローテーションは義務付けられていない).
- ER:各科ローテーションにおける当直(宿直・日直)で研修. 週1回程度の宿直, 月1回程度.
- JMECC:受講は必須.

# 専門医研修プログラム「サブスペシャリティー重点コース: 消化器選択」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	消化器C(必須)						消化器C					
2年目	日鋼記念病院(内科)						山梨赤十字病院(内科)					
3年目	内科 I ~ IV			消化器C								
							内科専門医病歴提出					
							内科専門医筆記試験					

- 昭和大学横浜市北部病院消化器C: 21ヶ月.
- 地域医療: 12ヶ月.
  - 消化器Cの関連施設として登録されている専門臨床研修施設は, 内科または総合内科を標榜.
  - 内科または総合内科として研修. 消化器疾患も経験.
- サブスペシャリティー科以外: 3ヶ月.



# 遡及(そきゅう)登録が認められています

内科専攻研修において求められる「疾患群」「症例数」「病歴要約提出数」について

	内容	専攻医3年修了時 カリキュラムに示す疾患群	専攻医3年修了時 修了要件	専攻医2年修了時 経験目標	専攻医1年修了時 経験目標	病歴要約提出数
分 野	総合内科I(一般)	1	1※2	1		2
	総合内科II(高齢者)	1	1※2	1		
	総合内科III(腫瘍)	1	1※2	1		
	消化器	9	5以上※1※2	5以上※1		3※1
	循環器	10	5以上※2	5以上		3
	内分泌	4	2以上※2	2以上		3※4
	代謝	5	3以上※2	3以上		
	腎臓	7	4以上※2	4以上		2
	呼吸器	8	4以上※2	4以上		3
	血液	3	2以上※2	2以上		2
	神経	9	5以上※2	5以上		2
	アレルギー	2	1以上※2	1以上		1
	膠原病	2	1以上※2	1以上		1
	感染症	4	2以上※2	2以上		2
救急	4	4※2	4以上	2		
	外科紹介症例					2
	剖検症例					1
	合計※5	70疾患群	56疾患群 (任意選択含む)	45疾患群 (任意選択含む)	20疾患群	29症例 (外来は最大7)※3
	症例数※5	200以上 (外来は最大20)	160以上 (外来は最大16)	120以上	60以上	

※1 消化器分野では「疾患群」の経験と「病歴要約」の提出のそれぞれにおいて、「消化管」「肝臓」「胆・膵」が含まれること。

※2 修了要件に示した分野の合計は41疾患群だが、他に異なる15疾患群の経験を加えて、合計56疾患群以上の経験とする。

※3 外来症例による病歴要約の提出を7例まで認める。

病歴要約は全て異なる疾患群での提出が必要。ただし、外科紹介症例、剖検症例については、疾患群の重複を認める。

※4 「内分泌」と「代謝」からは、それぞれ1症例ずつ以上の病歴要約を提出する。

例)「内分泌」2例 + 「代謝」1例、「内分泌」1例 + 「代謝」2例

※5 初期臨床研修時の症例は、例外的に各研修プログラムの委員会が認める内容に限り、その登録が認められる(最大80症例を上限とすること。病歴要約への適用については最大14使用例を上限とすること)。

- 経験症例.

- 修了要件: 56疾患群, 160症例以上.

- 目標: 70疾患群, 200症例以上.

- 病歴要約: 29症例以上.

- 遡及登録.

- 経験症例: 80症例.

- 病歴要約: 14症例.

(初期臨床研修, 選択研修2年目).

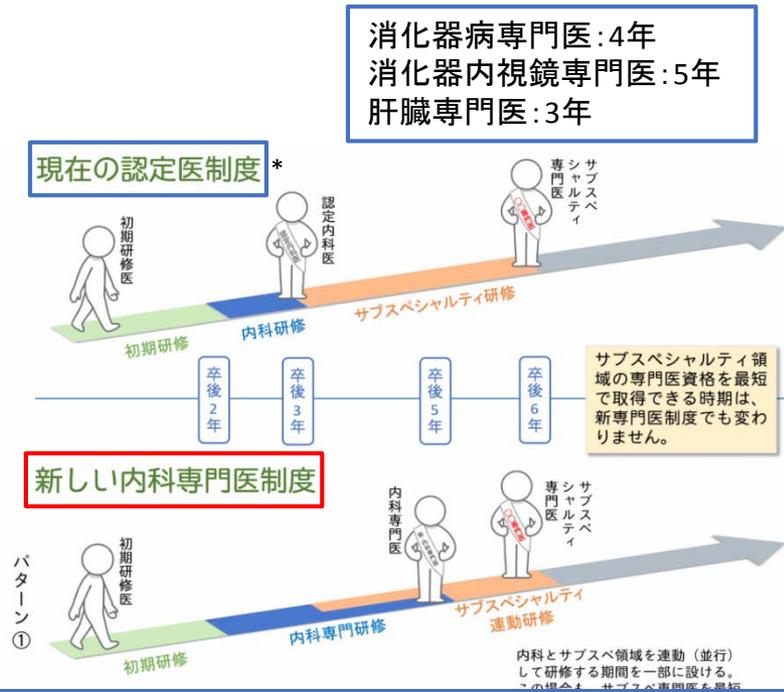
- 遡及登録: サブスペシャリティー科以外の症例を蓄積することをお勧めします.

# これからお話する内容

- 内科専門研修プログラム(内科専門医取得).
- サブスペシャルティ領域専門医取得.
- 博士(医学)取得.



# 基本領域とサブスペシャリティ領域の連動研修



- 基本領域(内科専門研修).
  - J-OSLERに登録:内科専門医試験.
- サブスペシャリティ領域.
  - 対象:2016年,2017年,2018年に医師免許を取得した医師(専攻医).
  - 日本消化器病学会:未掲載.
  - 日本消化器内視鏡学会:登録中.
  - 日本肝臓学会:~2020-09頃.

- 新型コロナウイルス感染対策により進捗が遅れています.
- 登録は可能,但し詳細は未定.
- 学会ホームページを確認.

\*:初期臨床研修修了以降の後期臨床研修で内科を12か月間以上研修する必要があります.

# これからお話する内容

- 内科専門研修プログラム(内科専門医取得).
- サブスペシャリティ領域専門医取得.
- 博士(医学)取得.



# 博士(医学)は必要? 大学院に行くべき?

- 博士(医学): 講師(兼任も含む)以上の昇任に必要.
- 博士(医学): 博士(甲), 博士(乙).
- 博士(甲)を取得するためには?
  - 大学院医学系研究科博士課程(4年)に2年以上在学. 所定の単位(30単位以上), 研究倫理教育CITI Japan(eラーニング)を修得. かつ必要な研究指導を修了.
- 博士(乙)を取得するためには?
  - 医学研究科が実施する外国語試験(英語)に合格. 専任教育職員として2年以上在籍. 医学部臨床系で6年以上研究に従事.

# 博士(甲)と(乙)の相違

	博士(甲)		博士(乙)
大学院	社会人選抜	一般選抜	なし
コース	基礎系	基礎系・臨床系	なし
学納金	あり	あり	なし
給与	あり	なし	あり

昭和大学横浜市北部病院に勤務し、博士(医学)を取得するには、

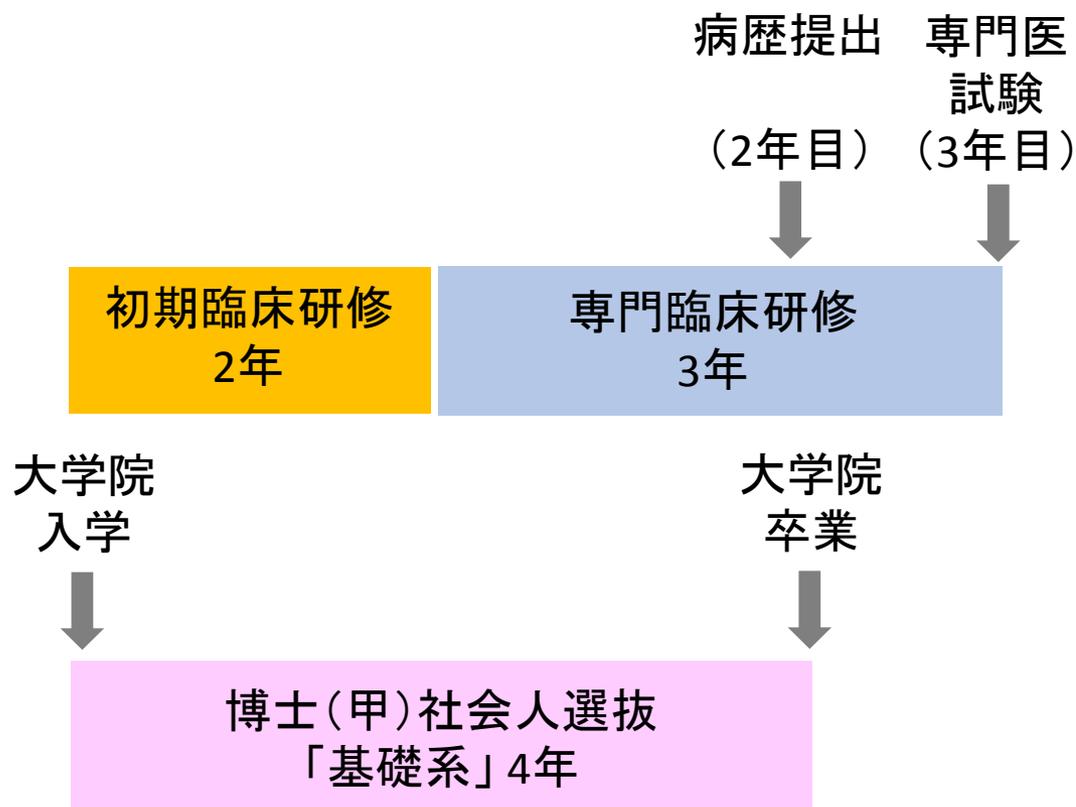
- 博士(甲):社会人選抜「基礎系」.
- 博士(乙).

の2種類の方法があります.

\*:助教医科は専攻医を含む.

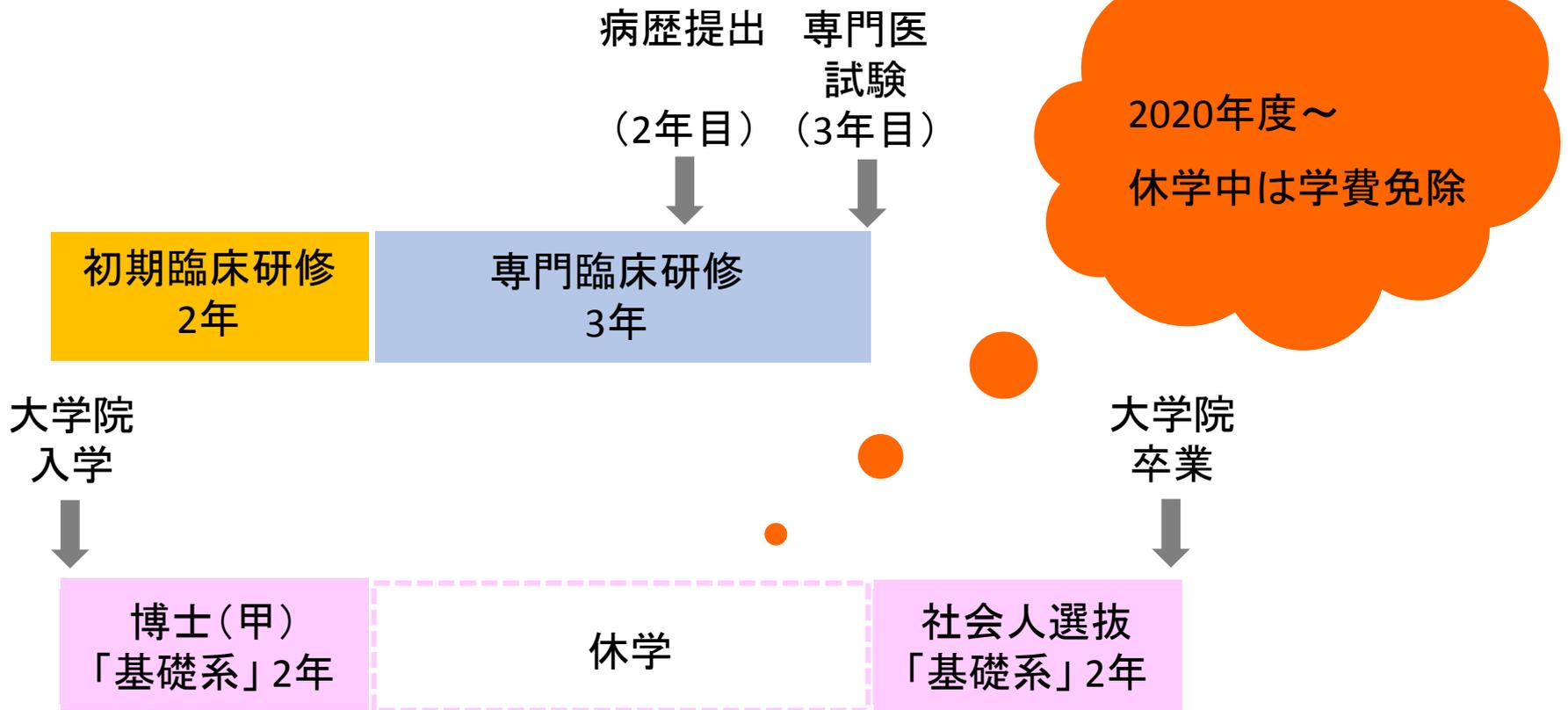
\*\* : 特別研究生 : 学位取得を目的とした非専任職員.

博士(甲):社会人選抜「基礎系」  
大学院入学:初期臨床研修開始



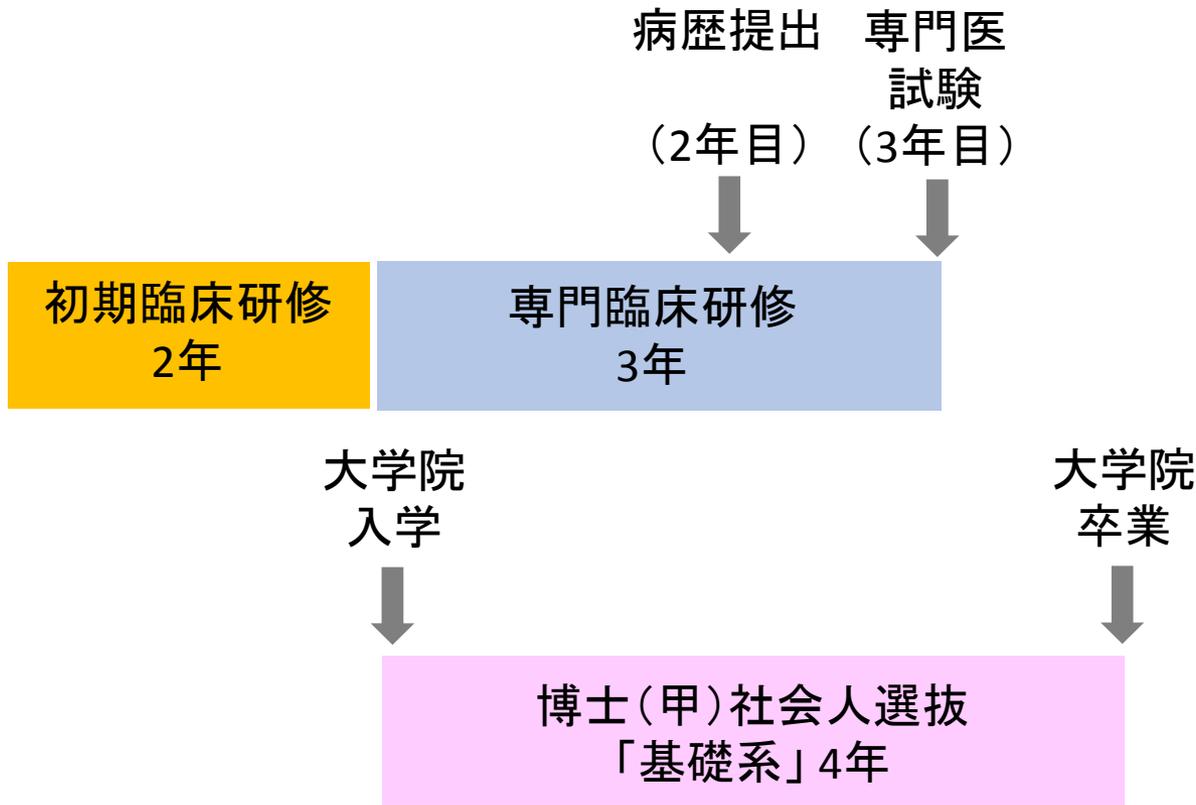
要因	単位取得	地域研修	研究期間	研究機関
	30単位	1年間	1年間	昭和大学
学位取得	ほぼ不可能			

博士(甲):社会人選抜「基礎系」  
大学院入学:初期臨床研修開始



要因	単位取得	地域研修	研究期間	研究機関
	30単位	影響なし	2年間	昭和大学
学位取得	可能			

博士(甲):社会人選抜「基礎系」  
大学院入学:専門臨床研修開始



要因	単位取得	地域研修	研究期間	研究機関
	30単位	1年間	3年間	昭和大学
学位取得	かなり厳しい			

# 大学院入学: 専門臨床研修開始



基礎系「5年以上」、臨床系「6年以上」: 研究に従事

”消化器センターの研究テーマ“  
大腸腫瘍(陥凹型大腸癌など)に関する  
研究: 病理, 内視鏡診断(AI)・治療など

博士(乙)

要因	単位取得	地域研修	研究期間	研究機関
	なし	なし	制限なし	付属病院
学位取得	推奨			

# 最後に皆さんへのメッセージ

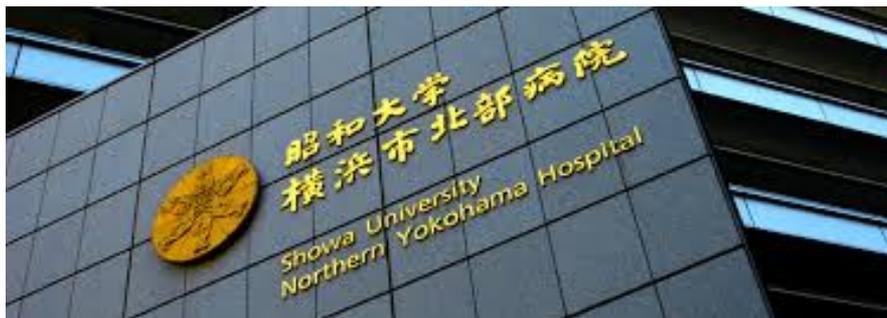
- サブスペシャリティー重点コース.
  - サブスペシャリティー科の研修期間を確保し、早く技能を修得する.
- 博士(医学).
  - 一定の評価が得られている英文誌に投稿し、博士(医学)を取得.



「鉄は熱いうちに打て」  
「学位は通過点であり、最終目標ではない」  
「学位取得後に何を成し遂げるかが大切」

「皆さんの本当の目標は、その先の未来にあります」





ご清聴ありがとうございました

質問があればご連絡ください



昭和大学  
横浜市北部病院